

本郷台中だより

31 学校だよりNo.7
令和元年10月7日
文京区立本郷台中学校
校長 齊藤 正富

地域に支えられて・本郷台中学校

この1か月の学校の取組を振り返って

2学期が始まって1か月。10月に入り、午後6時にはすっかり暗くなってしまいます。季節を問わず、学校では日々いろいろなことが起こります。生徒同士のトラブルもある一方で、生徒の笑顔が見られたり楽しい話を聞かせてもらったりする毎日です。生徒は、ここまで全体として、落ち着いて日々の学校生活を送ることができています。

9月前半には、今年度も生徒の希望を受けて、全教員が「ハートフルウィーク」として、面談を行いました。ねらいの一つは、2学期の始まりにあたり、それぞれの生徒に夏休みの生活を振り返らせ、2学期の目標を明確にさせることです。もう一つは、生徒が気がかりなことや心配なことを抱えていないかを把握することの二つです。

私も限られた時間でしたが、3名の生徒と面談をしました。また、最も多い教員は15名を担当しました。面談内容は、面談の担当者が他の教員と情報共有し、それぞれの生徒の今後の指導や対応に活用してまいります。

さて、ここまでの行事等の状況についてですが、3年生は、10月1日(火)から2泊で奈良・京都方面への修学旅行を実施しました。宿泊先は本校で貸切。温かく細やかに対応してくれる宿舎です。1日めは、奈良市内の史跡を中心に拝観し、2日めは、京都市内に移動して史跡巡り、夜は伝統工芸の体験。3日めは、2日めに巡らなかったところをタクシーで見学しました。

遡って9月10日(火)と17日(火)に分かれて、3年生全員が湯島幼稚園におじゃまして、園児との交流活動を行いました。始めは園児の無邪気さに戸惑いを見せていた3年生が、時間が経つにつれて、一緒に遊んだり、読み聞かせをしたりしながら、園児との交流を深めていました。

2年生は、9月20日(金)、21日(土)に防災宿泊体験を実施し、災害発生時に活用できるスキルを学んだり、学校の施設に寝泊まりして非常食を食べたりしました。

こうした活動の場面で生徒が真剣に取り組む光景をみていると、このような体験活動が生徒にとって、とても重要であると改めて認識しました。

地域の皆様との関わりでは、10月2日(水)に『ふれあい給食』を実施しました。1年生のご家族や本校に日頃からお世話をいただいている地域の皆様をお招きして、当日の給食と一緒に召し上がっていただきました。献立は生徒が考えた本校イチオシのメニューでした。参加した方々からは、有難いご感想をたくさん頂戴しました。お忙しいところを来校いただき、ありがとうございました。1年生は10月8日(火)に、都立工芸高等学校におじゃまし、高校の教室で実際に授業を受けさせていただく連携授業が行われます。

さらに、9月27日(金)湯島小学校6年生、10月4日(金)本郷小学校6年生を招いて、中学校体験を実施しました。短時間ではありましたが、授業参観や部活動にも実際に参加してもらいました。中学校がどのようなところなのかを実感してもらおうとともに、地元の子どもたちには、ぜひ本郷台中学校に入学してほしいと思います。

今後は、明日から中間考査が行われ、10月26日(土)の学習発表会に向けて準備が本格化します。当日は、ぜひ皆様にご覧いただきたいと存じます。ご来校いただき、本校の状況をご覧ください。